

収穫調査委託箇所の概要

1号物件(立木販売)

No.1  
宮崎南部森林管理署

記番	森林事務所	調査場所		林齢	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	予定面積(ha)	予定材積(m <sup>3</sup> )	極印	測量	距離(km)	区域表示	距離(km)	表示方法	林地傾斜	下層植生	歩行時間(分)	通勤距離(km)	成長量プロット	復命書作成見込み数	3Dレーザー 標本ライン設定	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考 (複数樹種の場合は樹種名を入力)	
		国有林	林小班																									
1	酒谷	荒河内	5 い	85	皆伐	100	標準地	0.81 (0.10)	567 (70)	有	コンバス	0.3 0.1	有	0.3 0.1	ベンキ	中	中	7	9.3		1		分収造林	30		酒谷	スキ、ヒ/キ	
2	酒谷	荒河内	5 ろ	85	皆伐	100	樹高曲線	1.92	1,344	有	コンバス	0.4	有	0.4	ベンキ	緩	中	5	9.3		2		分収造林	30		酒谷	スキ、ヒ/キ、広Ⅱ	
3	酒谷	荒河内	5 は	61	皆伐	100	樹高曲線	3.49	2,443	有	コンバス	0.8	有	0.8	ベンキ	中	中	8	9.3		2		分収造林	30		酒谷	スキ、ヒ/キ、広Ⅱ	
4	酒谷	荒河内	5 ほ	59	皆伐	100	標準地	2.94 (0.20)	2,058 (140)	有	コンバス	0.6 0.3	有	0.6 0.3	ベンキ	中	中	11	9.3		1		分収造林	20		酒谷	スキ	
5	酒谷	荒河内	5 ふ	85	皆伐	100	精密毎木	0.22	154	有	コンバス	0.1	有	0.1	ベンキ	緩	中	7	9.3		2		分収造林	20		酒谷	スキ、広Ⅱ	
6	酒谷	権現津留	14 う	61	皆伐	100	樹高曲線	5.51	3,857	有	コンバス	1.4	有	1.4	ベンキ	中	中	8	6.3		2		分収造林	30		酒谷	スキ、広Ⅱ	
7	酒谷	権現津留	14 の	54	皆伐	100	標準地	1.88 (0.10)	1,316 (70)	有	コンバス	0.5 0.1	有	0.5 0.1	ベンキ	中	中	7	6.3		1		分収造林	30		酒谷	スキ	
8	酒谷	権現津留	14 お	55	皆伐	100	精密毎木	0.31	217	有	コンバス	0.3	有	0.3	ベンキ	中	中	10	6.3		2		分収造林	30		酒谷	スキ、広Ⅱ	
9	酒谷	権現津留	14 く	58	皆伐	100	標準地	2.30 (0.20)	1,610 (140)	有	コンバス	0.3 0.3	有	0.3 0.3	ベンキ	中	中	12	6.3		1		分収造林	30		酒谷	スキ	
10	酒谷	小松	51 に1	59	皆伐	100	精密毎木	0.13	65	有	コンバス	0.1	有	0.1	ベンキ	急	中	4	15.8		2		分収造林	20		酒谷	スキ、広Ⅱ	
11	酒谷	小松	51 り	48	皆伐	100	標準地	3.70 (0.20)	1,850 (100)	有	コンバス	1.4 0.3	有	1.4 0.3	ベンキ	緩	中	4	15.8		1		国有林	100		酒谷	スキ	
12	酒谷	小松	51 つ	70	皆伐	100	樹高曲線	10.00	7,000	有	コンバス	1.8	有	1.8	ベンキ	中	中	8	15.9		2		分収造林	30		酒谷	スキ、広Ⅱ	
13	板谷	小松	57 ろ1	41	皆伐	100	標準地	1.24 (0.10)	1,109 (89)	有	コンバス	0.5 0.1	有	0.5 0.1	ベンキ	中	中	2	14.6		1		分収造林	20		板谷	スキ	
14	板谷	小松	57 ろ3	39	皆伐	100	精密毎木	0.12	104	有	コンバス	0.1	有	0.1	ベンキ	中	中	4	14.6		1		分収造林	30		板谷	スキ	
15	郷之原	権現谷	84 い	61	皆伐	100	樹高曲線	0.77	526	有	コンバス	0.4	有	0.4	ベンキ	急	中	28	1.0		2		分収造林	20		郷之原	スキ、広Ⅱ	
	合計																											No.2へ

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。  
 注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。  
 注3 通勤距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。  
 注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、( )を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。  
 注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[ ]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。

## 収穫調査委託箇所の概要

## 1号物件(立木販売)

記番	森 林 事務所	調査場所		林齢	伐採方 法	伐採率 (%)	調査方法	予定面積 (ha)	予定材積 (m <sup>3</sup> )	極印	測量	距離 (km)	区域 表示	距離 (km)	表示方 法	林地 傾斜	下層 植生	歩行時間 (分)	通勤距離 (km)	成長量 プロット	復命書 作成見 込み数	品質区分 条件 (3Dレーザのみ)	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考	
		国有林	林小班																									
16	郷之原	権現谷	84 ろ	61	皆伐	100	樹高曲線	3.18	2,169	有	コン パス	1.5	有	1.5	ベンキ	中	中	27	1.0		2		分収造林	20		郷之原	スキ、広Ⅱ	
17	郷之原	権現谷	84 は	61	皆伐	100	樹高曲線	1.15	788	有	コン パス	0.5	有	0.5	ベンキ	急	中	35	1.0		2		分収造林	20		郷之原	スキ、広Ⅱ	
18	田代	海一郷	123 む	43	皆伐	100	樹高曲線	1.20	880	有	コン パス	0.9	有	0.9	ベンキ	中	疎	3	18.1		2		分収造林	20		田代	スキ、広Ⅱ	
19	田代	和当地	125 い	44	皆伐	100	樹高曲線	5.30	4,664	有	コン パス	1.1	有	1.1	ベンキ	急	疎	5	18.7		2		分収造林	20		田代	スキ、広Ⅱ	
20	郷之原	大荷田	130 と	58	皆伐	100	樹高曲線	6.93	4,712	有	コン パス	1.3	有	1.3	ベンキ	中	中	9	7.6		2		分収造林	30		郷之原	スキ、広Ⅱ	
21	郷之原	大荷田	130 ね	49	皆伐	100	標準地	0.62 (0.05)	496 (40)	有	コン パス	0.4 0.1	有	0.4 0.1	ベンキ	中	疎	8	4.0		1		分収造林	30		郷之原	スキ	
22	郷之原	大荷田	130 ね1	49	皆伐	100	標準地	1.02 (0.06)	857 (50)	有	コン パス	0.5 0.1	有	0.5 0.1	ベンキ	中	疎	13	4.0		1		分収造林	30		郷之原	スキ	
23	郷之原	大荷田	130 そ	76	皆伐	100	標準地	1.10 (0.06)	880 (48)	有	コン パス	0.7 0.1	有	0.7 0.1	ベンキ	中	疎	13	4.0		1		分収造林	30		郷之原	スキ	
24	郷之原	大荷田	130 な	56	皆伐	100	標準地	1.50 (0.08)	1,140 (61)	有	コン パス	0.4 0.1	有	0.4 0.1	ベンキ	中	疎	15	4.0		1		分収造林	20		郷之原	スキ	
25	郷之原	大荷田	130 ら	55	皆伐	100	標準地	0.89 (0.05)	676 (38)	有	コン パス	0.4 0.1	有	0.4 0.1	ベンキ	中	疎	16	4.0		1		分収造林	30		郷之原	スキ	
26	郷之原	大荷田	130 り	52	皆伐	100	精密毎木	0.70	385	有	コン パス	0.4	有	0.4	ベンキ	中	中	16	7.6		2		分収造林	30		郷之原	スキ、広Ⅱ	
27	串間	山神	2006 り	49	皆伐	100	樹高曲線	0.72	336	有	コン パス	0.3	有	0.3	ベンキ	中	中	5	8.1		2		分収造林	30		串間	スキ、ヒ/キ、広Ⅱ	
28	串間	山神	2006 ぬ	58	皆伐	100	精密毎木	0.18	99	有	コン パス	0.3	有	0.3	ベンキ	中	中	5	8.1		2		分収造林	30		串間	スキ、ヒ/キ、広Ⅱ	
29	串間	山神	2006 る	70	皆伐	100	樹高曲線	0.49	256	有	コン パス	0.2	有	0.2	ベンキ	中	中	7	8.1		2		分収造林	30		串間	スキ、広Ⅱ	
30	串間	山神	2006 わ	59	皆伐	100	樹高曲線	0.40	221	有	コン パス	0.2	有	0.2	ベンキ	中	中	9	8.1		2		分収造林	30		串間	スキ、ヒ/キ、広Ⅱ	
	合計																											No.3へ

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。

注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。

注3 通勤距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。

注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、( )を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。

注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[ ]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。

収穫調査委託箇所の概要

1号物件(立木販売)

記番	森 林 事務所	調査場所		林齢	伐採方法	伐採率 (%)	調査方法	予定面積 (ha)	予定材積 (m <sup>3</sup> )	極印	測量	距離 (km)	区域表示		林地傾斜	下層植生	歩行時間 (分)	通勤距離 (km)	成長量プロット	復命書作成見込み数	品質区分条件 (3Dレーザのみ)	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考		
		国有林	林小班										距離 (km)	表示方法														
31	串間	山神	2006 か	56	皆伐	100	樹高曲線	0.97	542	有	コンバス	0.2	有	0.2	ペンキ	中	中	11	8.1		2		分収造林	30		串間	スキ、ヒノキ、広Ⅱ	
32	串間	山神	2006 よ	56	皆伐	100	精密毎木	0.10	35	有	コンバス	0.1	有	0.1	ペンキ	中	中	11	8.1		2		分収造林	30		串間	スキ、ヒノキ、広Ⅱ	
33	串間	山神	2006 た	67	皆伐	100	標準地	7.14 (0.40)	3,784 (212)	有	コンバス	2.0 0.5	有	2.0 0.5	ペンキ	中	中	9	8.1		1		分収造林	30		串間	スキ	
34	串間	甚谷	2010 こ	50	皆伐	100	標準地	1.80 (0.10)	1,049 (58)	有	コンバス	0.8 0.1	有	0.8 0.1	ペンキ	中	中	5	3.9		1		分収造林	30		串間	スキ、ヒノキ	
35	串間	甚谷	2010 ゆ	89	皆伐	100	精密毎木	0.27	33	有	コンバス	0.4	有	0.4	ペンキ	中	中	7	3.9		2		分収造林	30		串間	スキ、広Ⅱ	
36	串間	甚谷	2010 き	60	皆伐	100	樹高曲線	0.70	459	有	コンバス	0.3	有	0.3	ペンキ	急	中	7	3.9		2		分収造林	30		串間	スキ、広Ⅱ	
37																												
38																												
39																												
40																												
41																												
42																												
43																												
44																												
45																												
	合計							71.70 [46.46]	48,681 [32,405]			21.9 2.3		21.9 2.3														区域面積71.7ha

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。  
注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。  
注3 通勤距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。  
注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、( )を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。  
注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[ ]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。